



No.86

令和6年8月2日発行
発行所 袋井保安管理協会
編集 広報委員会
事務局 袋井消防本部予防課

会長挨拶

豊田合成株式会社 森町工場 梅下 博光



令和6年5月の通常総会にて会長を拝命いたしました梅下博光です。

会員の皆様におかれましては袋井保安管理協会への運営に対しご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

微力ではありますが、当協会の運営に精一杯取り組んでまいりますので、皆様方のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年の5月で新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類」へと移行し1年が経過致しました。

従来 of 生活に戻りつつありますが、令和6年元旦には能登半島地震が発生し、甚大な被害を及ぼしました。また2日には羽田空港で航空機事故があったことはまだ記憶に新しい事象であります。

災害、事故は「いつ、どこで、どんな」状態で発生するのか完全な予測をすることは困難であり、防火、防災の基本は一人ひとりが自ら取り組む「自助」であると考えます。

リスク及び対処法を具現化、共有いただき被害を最小限に抑制する事が出来るよう、日頃から考動する事が大切だと認識しています。

当協会の責務として各企業、団体での危険物の保安、防火・防災の活動と連携し相互研鑽、啓発する事により無事故、無災害の継続に寄与するため、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

袋井保安管理協会通常総会開催

令和6年5月17日（金）袋井消防庁舎・袋井市防災センターにおいて開催されました。
当日は、森町町長太田康雄様・袋井市消防団団長梅若充記様より祝辞をいただき、会員事業所に対し袋井保安管理協会会長より表彰を行いました。

また、議事後に静岡地方気象台水害対策気象官紅林亘様による「防災気象情報の利活用」と題した防災講演を聴講しました。



通常総会



防災講演「防災気象情報の利活用」

袋井保安管理協会会長表彰の御受賞おめでとうございます。



森町立飯田幼稚園 様



ケアハウス紅紫菀 様



東海プラスチック株式会社 静岡工場 様



株式会社東海ロジテム 渡瀬 勇 様



株式会社西日本宇佐美東海支店
袋井バイパス給油所 増田 努 様



遠州中央福祉会 特別養護老人ホーム
袋井ゆうあいの里 齋藤 嘉之 様

普通救命講習の開催

令和6年度袋井保安管理協会主催の普通救命講習が6月12日（水）から始まりました。

受講された方からのコメントと受講風景



会社で何度か AED や胸骨圧迫について講習があり、知識としては持っていると思っていましたが、実際一番講習で心に残ったのは AED の音でした。個人的には聞きなれない音でかなり焦りました。音で実際自分の周りの人や大事な人が倒れたら、自分はこの音を聞きながら果たして冷静に人命救助出来るのか不安になりました。

ただ、今回冷静な時に AED の音を聞いたことで少しは自分の事を客観的にみられる機会を得られたと思いますし、また、自分しか助けられる人が居ないという場合で自分が後悔することの無いよう、日頃から AED の場所をチェックしたり、時には本日の内容を復習する事で学んだことを忘れないようにしていきたいと思っています。

フェイスラボ株式会社 島田 実幸

この度、講習に参加して実技をメインに行い、実際に経験をすることでしかわからないことが多く知識も共に学ぶ機会ができ良かったと思います。

受講のきっかけは、勤めている施設からの提案でした。私たちの施設には持病を抱えている方もおり、いざという時の処置にも知識や経験が無ければ不安が多いのも事実ですので消防隊員の方が自らの経験を踏まえた指導をしていただき、臨機応変に対応する冷静さが重要だと知りました。2分間の胸骨圧迫を体験し、継続の難しさや体力の限界も実感し周囲との協力が不可欠ということも実感しました。今後、命に関わることに遭遇した時には、今回の経験が活かせるよう心に留め過ぎていきたいと思っています。

ワークスつばさ 山下 美和



近年、自然災害が増加しており、4月から工場勤務になったことで、災害や事故が今まで以上に身近に感じています。万が一の際に役立つ知識を身に付けるため、今回の普通救命講習に参加しました。

胸骨圧迫については数年ぶり、AED については初めて使用しましたが、見るだけでなく、身をもって訓練することで実践に備えることができると感じました。また訓練とはいえ、初めて 119 番通報を行いました。

訓練では落ち着いて実施できましたが、実際に通報する際には、慌ててしまうかもしれないため、オペレーションに従い正確な情報を伝達するように心掛けたいと思います。

講習全体を通して、救命処置の重要性を再認識しましたので、人命救助が必要な際には、勇気を持って行動したいと思います。

株式会社ハマネツ 静岡工場 鈴木 健介



BCP(事業継続計画) をご存じですか？

BCP (BusinessContinuityPlan) とは、災害や事故が発生した際に、従業員の生命と会社の財産を確保した上で、中核となる事業を継続又は早期復旧することで、顧客からの信用と従業員の雇用を維持し、会社を存続させることを目的とする計画です。

具体的な取り組み

- ・各担当者をあらかじめ決めておくこと（誰が、いつ、何をするか）
- ・連絡先をあらかじめ整理しておくこと
- ・必要な物資をあらかじめ整理、準備しておくこと
- ・上記を組織で共有すること
- ・定期的に見直し、必要に応じて研修・訓練を行うこと

袋井消防の準備

袋井消防では、災害時の長期に渡るライフライン停止に備え、災害用簡易トイレを導入しました。



自動ラップ機構により、水を使わず、熱圧着によって排泄物を1回毎にラップします。臭いや菌を外に漏らさないため、二次感染を予防します。

※ 能登半島地震の際、排泄物について大きく問題提起されました。

申請方法、申請時期等は対面講習とは異なります。7月頃までに当連合会のホームページに掲載しますのでご確認ください。

締切り前でも受付を終了しますので、確認の上、受講申請をしてください。

1)給油取扱所(主にガソリンスタンド等)、コンビナート以外は、一般で受講してください。

- (2)一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会のホームページからダウンロードしてください。

- URL: <https://www.zenkikvo.or.jp>